

SHARP®

取扱説明書

液晶カラーモニター

LL-T1520-H

LL-T1520-B

形名

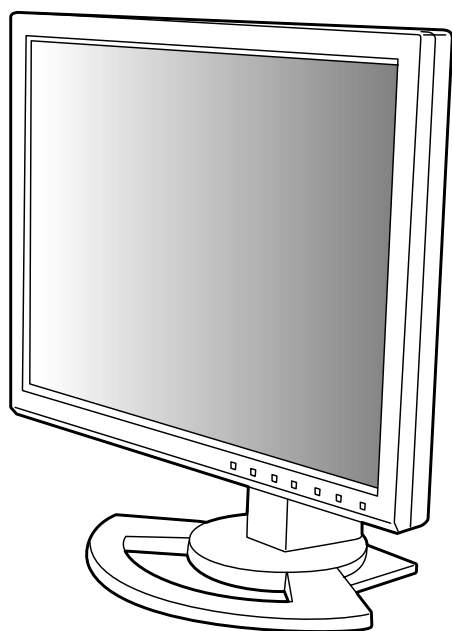
LL-T1620-H

LL-T1620-B

もくじ

ページ

はじめに	安全にお使いいただくために	3
	付属品の確認	5
	各部の名前とはたらき	6
	接続・電源入／切	8
準備	コンピュータの接続	8
	ヘッドホン(市販品)の接続	9
	電源の接続	10
	電源の入れかた	10
	入力端子の切り替え	10
	電源の切りかた	11
画面調整 音量調整	画面・スピーカー音量の調整について	12
	調整値のリセット	12
	調整ロック機能	12
	バックライトの明るさ調整	12
	スピーカーの音量調整	13
	画面の調整(アナログ信号使用時)	14
	画面の自動調整	14
	画面の手動調整	15
	画面の調整(デジタル信号使用時)	18
	画面調整のしかた	18
補足	お手入れ・保管・アフターサービスについて	20
	お手入れのしかた	20
	保管にあたって	20
	故障かな?と思ったら	21
	アフターサービスについて	21
	お客様ご相談窓口のご案内	22
	仕様	23
	セットアップ情報とICCプロファイルについて(Windows)	26
	ColorSyncプロファイルについて(MacOS)	29
	VESA規格準拠アームの取り付けかた	30



この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。

この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見る事ができる所に必ず保存してください。

- ※ 本モニターに使用している TFT カラー液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に常時点灯する微細な点や点灯しない画素が存在する場合があります。また、見る角度によっては、色のムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも液晶モニターの動作に影響を与える故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ※ 長時間静止画を表示しないでください。残像や焼き付けの原因になることがあります。
- ※ 輝度調整を最小にすると、見えにくいことがあります。
- ※ コンピュータ信号の質が表示品位に影響を与えることがあります。高品位の映像信号を出力できるコンピュータの使用をおすすめします。
- ※ 本機は、日本国内用です。海外では使えません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオやテレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときは、次の点にご注意ください。

※この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。

※この製品とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。

なお、くわしくは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご相談ください。

本書の表記について

- ※ 本書は、LL-T1520-H、LL-T1520-B、LL-T1620-H、LL-T1620-B 共通の取扱説明書です。機種ごとに仕様が異なる箇所では、形名を記載して説明しています。(特に形名の記載がない箇所は、機種共通の説明です。)
- ※ 本書では、LL-T1520-H と LL-T1520-B を合わせて「LL-T1520」と、LL-T1620-H と LL-T1620-B を合わせて「LL-T1620」と表記します。
- ※ 本書では、Microsoft Windows XP Home Edition と Microsoft Windows XP Professional を「WindowsXP」、Microsoft Windows 2000 を「Windows2000」、Microsoft Windows Millennium Edition を「WindowsMe」、Microsoft Windows 98 を「Windows98」、Microsoft Windows 95 を「Windows95」、Microsoft Windows Version3.1 を「Windows3.1」と表記します。また、これらを区別する必要のない場合は、総称して「Windows」と表記します。
- ※ Microsoft、Windows は、米国マイクロソフト社の米国、およびその他の国における登録商標です。
- ※ Macintosh は、米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- ※ そのほか、本書で記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

お願い

- ※ この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- ※ お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ※ この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
- ※ 付属品の形状が本書に記載の内容と多少異なることがあります。

安全にお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな絵表示をしています。その表示を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。



注意

人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

絵表示の意味

(絵表示の一例です。)



記号は、**気を付ける必要**があることを表しています。



記号は、**してはいけ**ないことを表しています。



記号は、**しなければならない**ことを表しています。

警告

電源コードを傷つけたり、重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。また、加工しないでください。電源コードを傷め、火災や感電の原因になります。



雷が鳴り始めたら、落雷による火災や感電を防ぐために、モニターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



発熱したり、煙が出たり、変なにおいがするなどの異常な状態で使用を続けると、火災や感電の原因になります。異常が起きたら、すぐにモニターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買いあげの販売店にご連絡ください。



風通しの悪い場所、ほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気の当たる場所では使用しないでください。火災の原因になります。



水などの液体がかからないようにしてください。また、クリップやピンなどの異物が機械の中に入らないようにしてください。火災や感電の原因になります。



注意

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。付属以外のものを使用すると、火災の原因になることがあります。



電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用してください。指定以外の電源を使用すると、火災の原因になることがあります。



電源プラグは、コンセントに直接差し込んでください。タコ足配線をする、過熱により火災の原因になることがあります。



火災や感電を防ぐために、次のことをお守りください。



●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

●夜間、旅行などで長時間使用しないときは、モニターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みがゆるく電源プラグがぐらついているときは、使用をやめて、お買いあげの販売店にご相談ください。

ぐらつく台の上や、不安定な場所に置かないでください。また、強い衝撃や振動を与えないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。



⚠ 注意

直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、高温になる場所で使用しないでください。発熱や発火の原因になることがあります。



硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。破損してけがの原因になることがあります。



あお向け、横倒し、逆さまにして使用しないでください。熱がこもり、発熱や発火の原因になることがあります。



改造や分解はしないでください。また、お客様による修理はしないでください。火災や感電、けがの原因になることがあります。



健康のために、次のことをお守りください。



- 連続して使用する場合は、1時間ごとに10分から15分の休憩を取り、目を休ませてください。
- 明暗の差が大きい所では使用しないでください。
- 日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。

移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外してください。コードやケーブルが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。



年に一度を目安にモニター内部を清掃してください。(もよりのお客様ご相談窓口にご相談ください。)

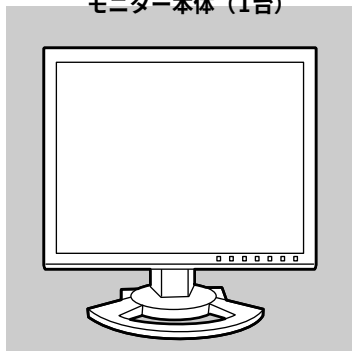


内部にほこりがたまると、発熱や発火の原因になることがあります。

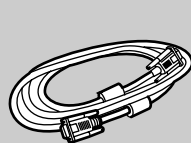
付属品の確認

箱の中に次のものが入っているか確かめてください。
万一、不足のものがありましたら、お買いあげの販売店にご連絡ください。

モニター本体 (1台)

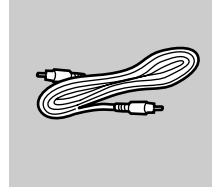


アナログ信号ケーブル (1本)

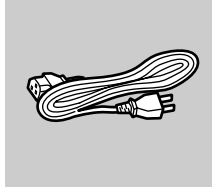


(D-sub15ピン-D-sub15ピン)

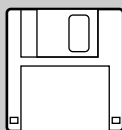
オーディオケーブル (1本)



電源コード (1本)

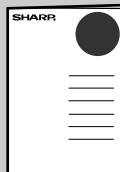


ユーティリティディスク (1枚)



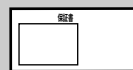
(Windows/Macintosh用)

取扱説明書 (1部)



(本書)

保証書 (1部)



集配修理サービス
「修理宅配便」(有料)のご案内 (1部)



※ 梱包箱は、輸送などに備えて保管しておいてください。

※ ユーティリティディスク内のプログラムの著作権は、シャープ(株)が保有しています。許可なく複製しないでください。

別売品のご案内

品 名	形 名	希望小売価格
ディスプレイ(デジタル信号)ケーブル DVI-D — DVI-D	NL-C04J	3,990円 (税抜価格3,800円)
ディスプレイ(アナログ信号)ケーブル DVI-I29ピン — ミニD-sub15ピン	NL-C02J	3,990円 (税抜価格3,800円)

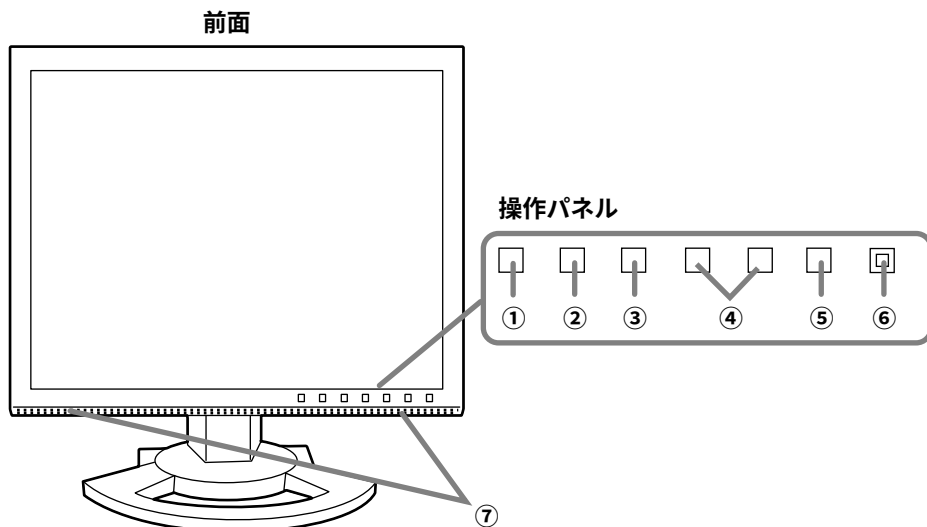
※当社製品販売店にて品名、形名を指定のうえ、お買い求めください。

※希望小売価格は、2004年3月現在のものです。

※希望小売価格は予告なく変更することがあります。

※ディスプレイ(デジタル信号)ケーブルは、NL-C01Jも使用可能です。(NL-C01Jは生産を完了しています。)

各部の名前とはたらき



① INPUT ボタン

信号の入力端子を切り替えます。(アナログ RGB 入力端子 ↔ DVI-I 入力端子)

② MENU ボタン

調整メニューの表示、切り替え、消去を行います。

③ SELECT ボタン

調整メニューが表示されているとき、調整項目の選択に使います。

④ ◀▶ ボタン

調整メニューが表示されているときは、調整項目の選択や調整値の増減に使います。

調整メニューが表示されていないときは、バックライトの明るさやスピーカーの音量を調整します。

⑤ 電源ボタン

⑥ 電源ランプ

通常表示時は緑色に、パワーセーブ時はオレンジ色に点灯します。

⑦ スピーカー

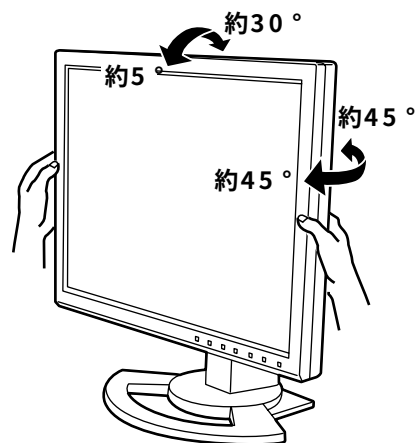
本機と接続している外部機器から入る音声を聞くことができます。

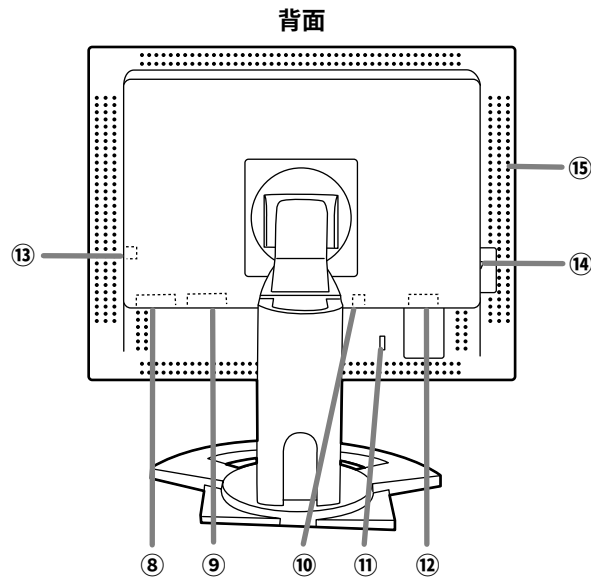
角度調節

モニターの両側を軽く持ち、見やすい角度に調整します。

！ ご注意

※ ディスプレイ部を動かすときは、必ず枠の部分を持ってください。液晶パネルに手を当てて力を加えると、破損の原因になります。





⑧ DVI-I 入力端子 (INPUT2)

コンピュータのデジタル RGB 出力端子やアナログ RGB 出力端子と接続します。

※ デジタル接続の場合、DVI 準拠の出力端子(DVI-D24 ピンまたは DVI-I 29 ピン)を持つ以下のコンピュータと接続することができます。(ただし、接続するコンピュータによっては正しく表示されないことがあります。)

LL-T1520：XGA 出力が可能なコンピュータ

LL-T1620：SXGA 出力が可能なコンピュータ

※ 接続には、別売のケーブルが必要です。

デジタル RGB 出力端子と接続する場合 … デジタル信号ケーブル(形名：NL-C01J)

アナログ RGB 出力端子と接続する場合 … アナログ信号ケーブル(形名：NL-C02J)

⑨ アナログ RGB 入力端子 (INPUT1)

付属のアナログ信号ケーブルを使って、コンピュータのアナログ RGB 出力端子と接続します。

⑩ オーディオ入力端子

付属のオーディオケーブルを使って、コンピュータのオーディオ出力端子と接続します。

⑪ 盗難防止ホール(K)

市販の盗難防止ロックを接続すると、本体を持ち運べないように固定することができます。

※ 盗難防止ホールは、Kensington 社製マイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。

⑫ 電源端子

付属の電源コードを接続します。

⑬ ヘッドホン端子

ヘッドホン(市販品)を接続することができます。

⑭ 主電源スイッチ

⑮ 通風孔

※ 通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、故障の原因になります。

接続・電源入／切

！ ご注意

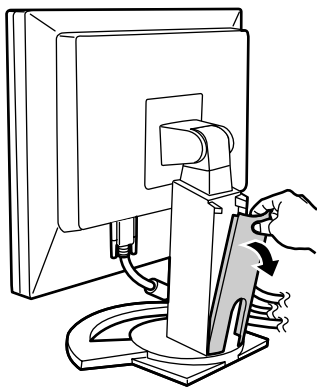
- ※ 接続は、モニターおよびコンピュータの電源を切った状態で行ってください。
- ※ ケーブルを無理に曲げたり、ケーブルに力が加わらないようにしてください。断線などの故障の原因になります。

■ケーブルの収納について

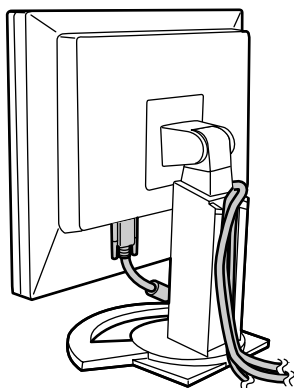
ケーブルは、必要に応じてスタンドに収納することができます。

1. カバーを外す。

カバー上部を静かに手前に引きます。

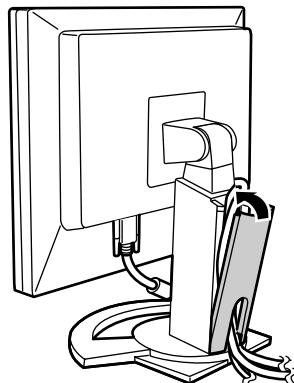


2. スタンドの背面にケーブルを沿わせる。



3. カバーを取り付ける。

ケーブルをはさまないように注意してください。

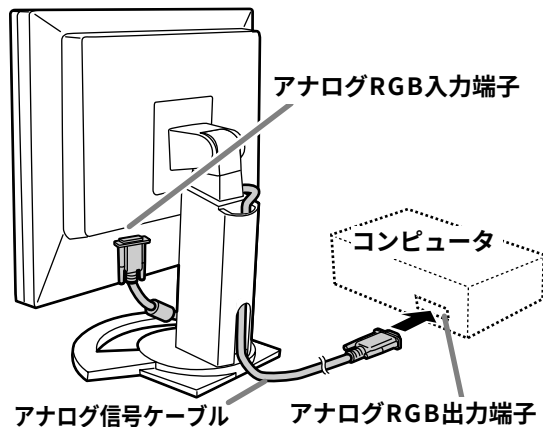


※ カバーが取り付けにくいときは、無理に取り付けずに、ケーブルがはさまれていないかを確認してください。

コンピュータの接続

■付属のアナログ信号ケーブルで接続する

付属のアナログ信号ケーブルを本機のアナログ RGB 入力端子と、コンピュータのアナログ RGB 出力端子に接続します。



※ コネクタの向きを確かめて奥まで差し込んだあと、両側のネジで固定します。

D-sub15 ピン 2 列の Power Macintosh とアナログ接続をする場合は、アナログ信号ケーブルのコンピュータ側コネクタに Macintosh 用変換アダプター (市販品) を取り付けます。



■別売のディスプレイケーブルで接続する

別売のディスプレイケーブルを本機の DVI-I 入力端子と、コンピュータのデジタル RGB 出力端子やアナログ RGB 出力端子に接続することができます。

デジタル RGB 出力端子と接続する場合：

デジタル信号ケーブル(形名：NL-C01J)を使用。

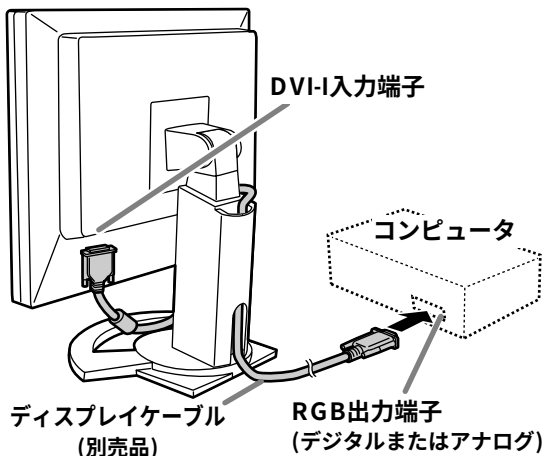
※ デジタル接続の場合、DVI 準拠の出力端子(DVI-D 24 ピンまたは DVI-I 29 ピン)を持つ以下のコンピュータと接続することができます。(ただし、接続するコンピュータによっては正しく表示されないことがあります。)

LL-T1520：XGA 出力が可能なコンピュータ

LL-T1620：SXGA 出力が可能なコンピュータ

アナログ RGB 出力端子と接続する場合：

アナログ信号ケーブル(形名：NL-C02J)を使用。



※ コネクタの向きを確かめて奥まで差し込んだあと、両側のネジで固定します。

Belkin 製 ADC-DVI アダプタを使用して Power Mac とデジタル接続をする場合は、本機で次の設定を行ってください。(Power Mac G4 M7627J/A で動作確認済み)

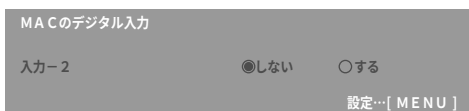
※ 設定は、Power Mac 本体の電源を切った状態で行ってください。

※ 設定用の画面は、最後のボタン操作から約 30 後に自動的に消えます。

1. 電源コード接続後、本機の主電源を入れる。

2. ◀ ボタンと ▶ ボタンの両方を押しながら、電源ボタンを押す(本機の電源を入れる)。

次のメニューが表示されます。



3. ◀▶ ボタンで設定を「する」にする。

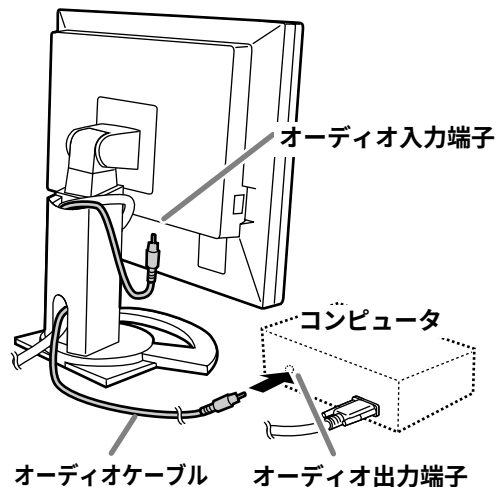
※ Belkin 製 ADC-DVI アダプタを使用しないときは、「する」に設定しないでください。正しく表示されなくなることがあります。

4. MENU ボタンを押す。

以上で設定は完了です。

■付属のオーディオケーブルを接続する

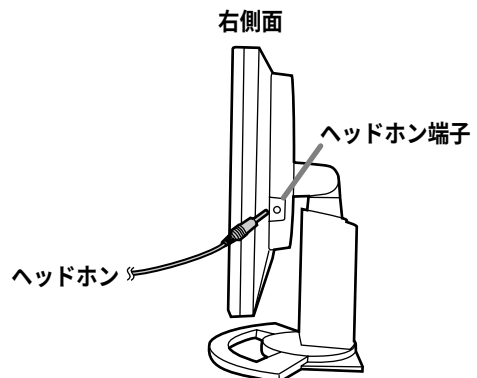
付属のオーディオケーブルをコンピュータのオーディオ出力端子と接続すると、接続したコンピュータの音の本機のスピーカーから出力されます。また、本機のヘッドホン端子を利用することができます。



※ 市販のケーブルをお使いになるときは、抵抗がないものをお使いください。

ヘッドホン（市販品）の接続

ヘッドホン(市販品)を接続することができます。

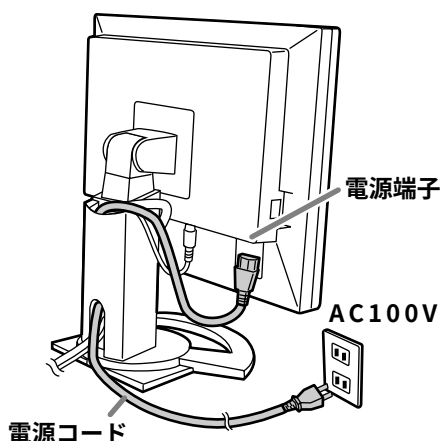


? Memo

※ ヘッドホンを接続すると、本機のスピーカーからは音が聞こえなくなります。

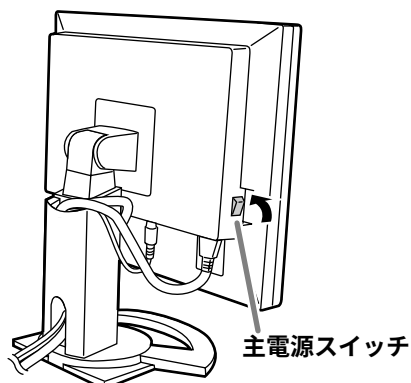
電源の接続

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。



電源の入れかた

1. モニターの主電源を入れる。

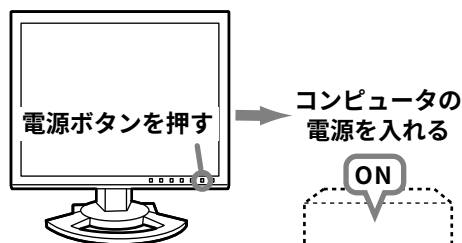


※ 主電源スイッチ入 / 切の切り替えは、必ず約 5 秒以上の間隔を空けて行ってください。急に切り替えると、故障や誤動作の原因になります。

2. モニターの電源ボタンを押す。

電源ランプがオレンジ色に点灯します。

3. コンピュータの電源を入れる。



コンピュータからの信号が入力されると、電源ランプが緑色に点灯し、画面が表示されます。(電源を入れたあと、画面が表示されるまでに少し時間がかかることがあります。)

※ コンピュータが接続されている入力端子が選択されていないと、画面は表示されません。必要に応じて、入力端子の切り替えを行ってください。(下記)

? Memo

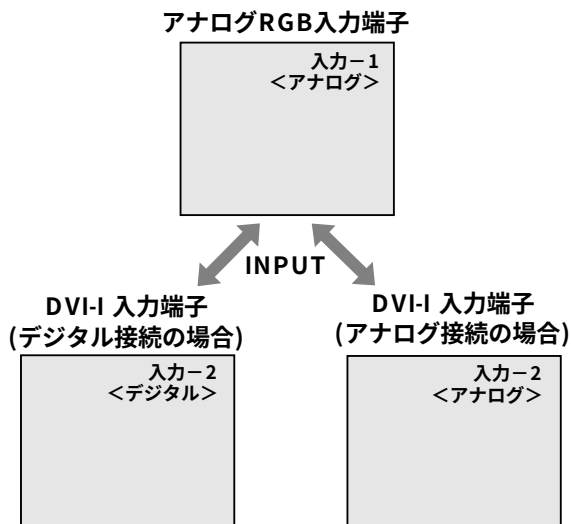
アナログ信号で使用する場合…

※ 本機を初めて使用するときや、使用中のシステムの設定を変更したときは、画面の自動調整(14 ページ)を行ってください。(デジタル信号で使用する場合は、特に調整の必要はありません。)

※ ノートパソコンと接続して、ノートパソコン画面と同時表示するように設定されていると、MS-DOS 画面が正しく表示できないことがあります。その場合は、本機でのみの表示となるように設定してください。

入力端子の切り替え

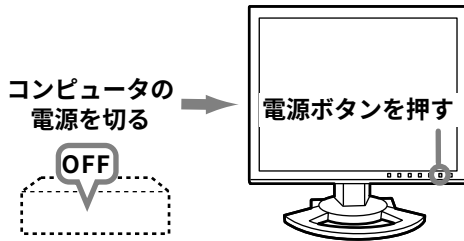
INPUT ボタンで、信号の入力端子を切り替えます。



電源の切りかた

1. コンピュータの電源を切る。
2. モニターの電源ボタンを押す。

電源ランプが消灯します。



長時間使用しないときは、モニターの主電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

画面・スピーカー音量の調整について

アナログ信号使用時

1. 初めに自動調整をする。(14 ページ)
2. 必要に応じて手動調整をする。(15 ページ)

デジタル信号使用時

基本的には、調整をしなくてもお使いいただけます。
必要に応じて手動調整ができます。(18 ページ)

? Memo

※ 調整内容は、電源を切っても保持されます。

調整値のリセット

■調整値のオールリセット

すべての調整値を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

1. 本機の電源を切る。
2. MENU ボタンと SELECT ボタンの両方を押しながら、電源ボタンを押す(電源を入れる)。
画面に「オールリセット中」と表示されるまで押し続けてください。
メッセージの表示が消えると、リセットは完了です。

? Memo

- ※ 「オールリセット中」の表示中は、操作ボタンは効きません。
- ※ 調整ロックが設定されている場合、オールリセットはできません。調整ロックを解除してから操作してください。

■画面調整メニューのリセット

アナログ接続時の画面調整メニューの調整値を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

1. 本機の電源を入れる。
2. MENU ボタンと ◀ ボタンの両方を押す。
画面に「リセット中」と表示されて、リセットが完了します。

? Memo

- ※ 調整ロックが設定されている場合、リセットはできません。調整ロックを解除してから操作してください。

調整ロック機能

操作ボタンを効かなくして(ロック設定)、調整後の内容の変更を防ぐことができます。

1. 本機の電源を切る。
2. MENU ボタンを押しながら、電源ボタンを押す(電源を入れる)。
画面に「調整ロック設定中」と表示されるまで、ボタンを押し続けてください。表示されるとロックが設定されます。

? Memo

- ※ ロック設定をすると、電源ボタン以外のボタンは効かなくなります。

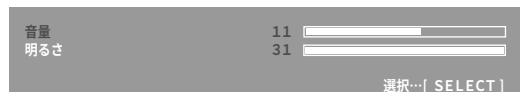
調整ロックの解除

1. 本機の電源を切る。
2. MENU ボタンを押しながら、電源ボタンを押す(電源を入れる)。
画面に「調整ロックを解除します」と表示されるまで、ボタンを押し続けてください。表示されると、ロックが解除されます。

バックライトの明るさ調整

調整メニューが表示されていない状態で操作します。
調整メニューが表示されている場合は、MENU ボタンを押して(場合によっては数回)、調整メニューを消してから操作してください。

1. 調整メニューが表示されていない状態で、◀ または ▶ ボタンを押す。



2. 「明るさ」が選択されていることを確認する。
選択されていない場合は、SELECT ボタンを押して、「明るさ」を選択してください。
3. ◀ ボタン(暗くする)、▶ ボタン(明るくする)を押して調整する。

? Memo

- ※ 調整用の表示は、最後のボタン操作から数秒後に自動的に消えます。

スピーカーの音量調整

調整メニューが表示されていない状態で操作します。
調整メニューが表示されている場合は、MENU ボタンを押して(場合によっては数回)、調整メニューを消してから操作してください。

1. 調整メニューが表示されていない状態で、◀ または ▶ ボタンを押す。



2. 「音量」が選択されていることを確認する。
選択されていない場合は、SELECT ボタンを押して、「音量」を選択してください。
3. ◀ ボタン(小さくする)、▶ ボタン(大きくする)を押して調整する。

? Memo

※ 調整用の表示は、最後のボタン操作から数秒後に自動的に消えます。

画面の調整(アナログ信号使用時)

画面の自動調整

画面調整メニューのクロック、フェーズ、水平位置、垂直位置を自動的に調整します。

? Memo

※ 本機を初めて使用するときや、使用中のシステムの設定を変更したときは、ご使用の前に自動調整を行ってください。

■調整のための画面表示について

調整を行うために、あらかじめ画面全体が明るくなるような画像を表示してください。

Windows をご使用の場合は、本機に付属のユーティリティディスクの調整用パターンをご利用ください。

調整用パターン(Windows 専用)の呼び出し方

Windows95/98/Me/2000/XP を基準に、フロッピーディスクドライブを「A ドライブ」として説明します。

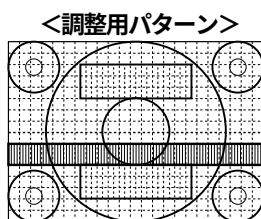
※ ご使用のコンピュータのフロッピーディスクドライブが A ドライブと異なる場合は、「A ドライブ」や「A:」をお使いのドライブに置き換えてお読みください。

1. 付属のユーティリティディスクをコンピュータの A ドライブにセットする。

2. 「マイコンピュータ」の「3.5 インチ FD(A:)」を開く。
Windows 3.1 の場合は、「ファイルマネージャ」を開き、「A ドライブ」を選択します。

3. 「Adj_uty.exe」をダブルクリックして、調整用プログラムを起動する。

調整用パターンが表示されます。



調整終了後は、コンピュータの[ESC]キーを押して、調整用プログラムを終了してください。

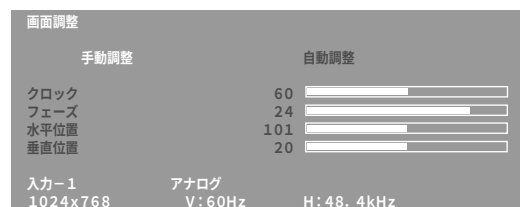
? Memo

※ 使用するコンピュータの表示モードが 6 万 5 千色の場合、カラーパターンの各色の階調が異なったり、グレースケールが色付きに見えることがあります。(入力信号の仕様によるもので、故障ではありません。)

■自動調整のしかた

1. MENU ボタンを押す。

画面調整メニューが表示されます。



2. ▶ ボタンを押して「自動調整」を選択する。

画面が黒くなり、「自動調整中」と表示され、数秒後に画面調整メニューに戻ります。

(これで自動調整は完了です。)

3. MENU ボタンを 4 回押して、調整メニューを消す。

? Memo

- ※ 通常は、自動調整だけでご使用いただけます。
- ※ 1 回の自動調整では、正しく調整できないことがあります。その場合は、自動調整を 2 ～ 3 回繰り返してみてください。
- ※ 自動調整後、次のような場合は必要に応じて手動調整(15 ページ)を行ってください。
 - さらに微調整が必要なとき
 - コンピュータからの信号がコンポジット・シンクやシンク・オン・グリーン有的时候など(自動調整では、正しく調整できないことがあります。)
 - 「自動調整できませんでした」と表示されたとき(画面全体が極端に暗い場合など、表示中の内容によっては自動調整ができないことがあります。再度、自動調整をする場合は、調整用パターンを利用するか、画面全体が明るくなるような画像に変えてみてください。)
- ※ 動画や MS-DOS プロンプトなど、画面によっては自動調整が正しく行われないことがあります。

画面の手動調整

用意されている調整メニューを利用して、画面の調整をします。

■調整のための画面表示について

Windows をご使用の場合は、付属のユーティリティディスクから調整用パターン(Windows 専用)を呼び出してください。(14 ページ)

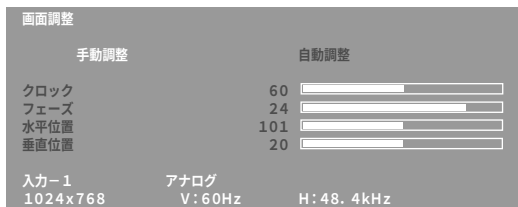
Windows 以外の場合、調整用パターンは利用できません。画面全体が明るくなるような画像を表示して、実際の画面を見ながら調整してください。

※ 本書では、調整用パターン(Windows 専用)を利用した調整のしかたを基本に説明します。

■手動調整のしかた

1. MENU ボタンを押す。

画面調整メニューが表示されます。



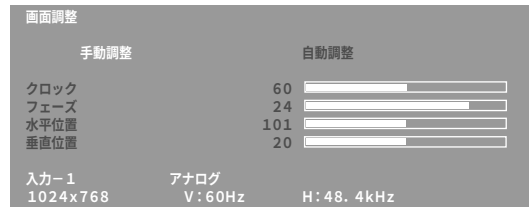
以降、必要な項目を調整します。

MENU ボタンを押すごとに、次のメニューに切り替わります。(画面調整→映像調整→カラー調整→モード選択→メニュー表示消)

? Memo

※ 調整メニューは、最後のボタン操作から約 30 秒後に自動的に消えます。

画面調整メニュー



手動調整 必要な項目を手動で調整します。

自動調整 各項目を自動的に調整します。

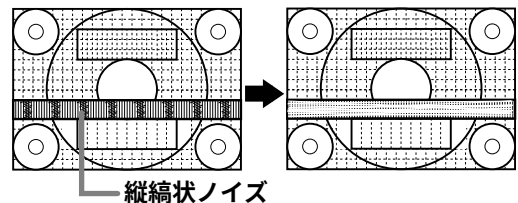
※ ► ボタンを押すと、「自動調整」の選択になります。

※ 項目の選択 : SELECT ボタン

※ 次のメニューへ : MENU ボタン

クロック

下図の部分に縦縞状のノイズが出ないように調整します。(◀▶ ボタン)

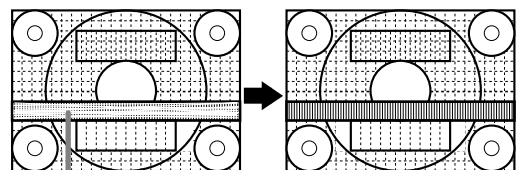


縦縞状ノイズ

フェーズ

下図の部分に横縞状のノイズが出ないように調整します。(◀▶ ボタン)

※ 「フェーズ」の調整は、必ず「クロック」を正しく調整したあとで行ってください。



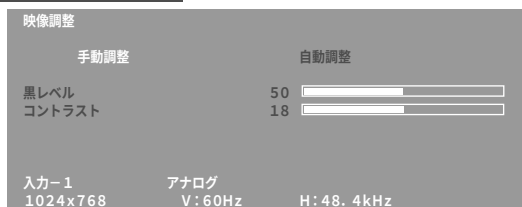
横縞状ノイズ

水平位置、垂直位置

調整パターンの全体が画面内に表示されるように、左右、上下の位置を調整します。(◀▶ ボタン)



映像調整メニュー



手動調整 必要な項目を手動で調整します。
 自動調整 オートゲインコントロール機能*で、「黒レベル」「コントラスト」を自動調整します。自動調整後、必要に応じて手動調整をしてください。

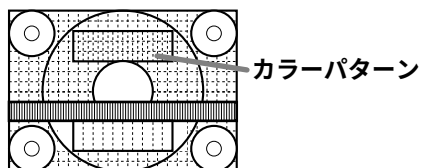
- ※▶ボタンを押すと、「自動調整」の選択になります。
- ※ 項目の選択 : SELECT ボタン
- ※ 次のメニューへ : MENU ボタン

* オートゲインコントロール機能

- 画面に表示中の最も明るい色を基準に黒レベル、コントラストが調整されます。調整パターンを利用しないときは、自動調整できない場合があります。その場合には調整パターンを利用するか、手動で調整してください。
- コンピュータからの信号がコンポジット・シンクやシンク・オン・グリーンの場合は、自動調整ができない場合があります。その場合は、手動で調整してください。

黒レベル

カラーパターンを見ながら、画面全体の明るさを調整します。(◀▶ ボタン)



コントラスト

カラーパターンを見ながら、すべての階調が表示されるように調整します。(◀▶ ボタン)

カラー調整メニュー



- ※ 項目の選択 : SELECT ボタン
- ※ 次のメニューへ : MENU ボタン

カラーモード

表示の色合いを設定します。(◀▶ ボタン)

sRGB IEC(International Electrotechnical Commission)が規定した色再現性の国際規格です。液晶の特性を考慮した色変換が行われ、原画像に基づいた色合いでの表示になります。

標準 液晶モニター本来の色合いを活かした表示になります。

あざやか .. 原色をダイナミックに表示します。

- ※ 「sRGB」または「あざやか」を選択した場合、「色温度」以降の項目の設定はできません。

以降の項目は、「カラーモード」が「標準」の場合に設定できます。

色温度

「色温度」選択後、▶ ボタンを押して、色温度メニューを表示します。



※「標準」以外では、すべての階調を表示することはできません。すべての階調を表示したいときは、「標準」に設定してください。

※ ◀▶ ボタンで「寒色」「・」「標準」「・」「暖色」「ユーザー設定」を選びます。

※ 「ユーザー設定」を選ぶと、「赤色コントラスト」、「緑色コントラスト」、「青色コントラスト」の設定値が表示され、微調整ができます。

※ SELECT ボタンで「赤色コントラスト」、「緑色コントラスト」、「青色コントラスト」を選びます。

※ 調整終了：MENU ボタン

寒色 標準設定よりも青みがかった色

- 標準設定よりもやや青みがかった色

標準 標準設定

- 標準設定よりもやや赤みがかった色

暖色 標準設定よりも赤みがかった色

ユーザー設定

赤色コントラスト ◀ ボタンで青緑色、

▶ ボタンで赤色

緑色コントラスト ◀ ボタンで紫色、

▶ ボタンで緑色

青色コントラスト ◀ ボタンで黄色、

▶ ボタンで青色

色あい

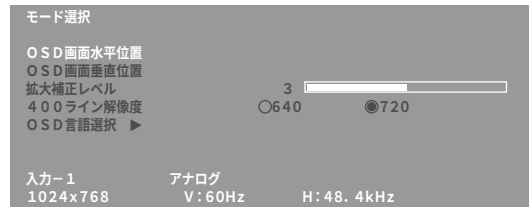
色あいを調整します。(◀▶ ボタン)

色の濃さ

色の濃さを調整します。(◀▶ ボタン)

最小値にすると、白黒になります。

モード選択メニュー



※ 入力信号の解像度によっては、項目の選択ができて、表示状態が変わらないことがあります。

※ 項目の選択：SELECT ボタン

※ 調整終了：MENU ボタン

OSD 画面水平位置

調整メニューの表示位置を左右に動かします。

(◀▶ ボタン)

OSD 画面垂直位置

調整メニューの表示位置を上下に動かします。

(◀▶ ボタン)

拡大補正レベル

拡大表示の画像のシャープさを調整することができます。(◀▶ ボタン)

400 ライン解像度

PC9800 シリーズや US TEXT 等の 400 ライン

画面の水平解像度を設定します。(◀▶ ボタン)

640 640 × 400 ドットモード

(PC9800 シリーズなど)

720 720 × 400 ドットモード

(US TEXT など)

※ 400 ライン以外の解像度の入力の場合、設定の必要はありません。(自動検出が行われます。)

OSD 言語選択

画面に表示されるメッセージや調整メニューの言語を変更することができます。

英語、ドイツ語、フランス語、オランダ語、スペイン語、イタリア語、スウェーデン語、日本語

1) 「OSD 言語選択」選択後、▶ ボタンを押す。

言語選択メニューが表示されます。

2) SELECT ボタンで言語を選択する。

3) MENU ボタンを押す。

言語選択メニューが消えます。

画面の調整(デジタル信号使用時)

画面調整のしかた

用意されている調整メニューを利用して、画面の調整をします。

■調整のための画面表示について

Windows をご使用の場合は、付属のユーティリティディスクから調整用パターン(Windows 専用)を呼び出してください。(14 ページ)

Windows 以外の場合、調整用パターンは利用できません。画面全体が明るくなるような画像を表示して、実際の画面を見ながら調整してください。

※ 本書では、調整用パターン(Windows 専用)を利用した調整のしかたを基本に説明します。

■調整のしかた

1. MENU ボタンを押す。

カラー調整メニューが表示されます。



以降、必要な項目を調整します。

MENU ボタンを押すごとに、次のメニューに切り替わります。(カラー調整 → モード選択 → メニュー表示消)

? Memo

※ 調整メニューは、最後のボタン操作から約 30 秒後に自動的に消えます。

カラー調整メニュー



※ 項目の選択 : SELECT ボタン

※ 次のメニューへ : MENU ボタン

カラーモード

表示の色合いを設定します。(◀ ▶ ボタン)

sRGB IEC(International

Electrotechnical Commission)が規定した色再現性の国際規格です。液晶の特性を考慮した色変換が行われ、原画像に基づいた色合いでの表示になります。

標準 液晶モニター本来の色合いを活かした表示になります。

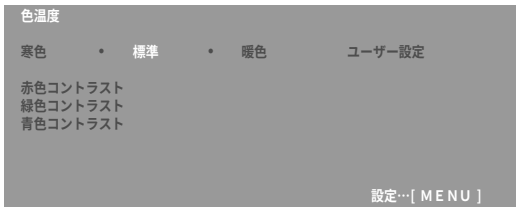
あざやか .. 原色をダイナミックに表示します。

※ 「sRGB」または「あざやか」を選択した場合、「色温度」以降の項目の設定はできません。

以降の項目は、「カラーモード」が「標準」の場合に設定できます。

色温度

「色温度」選択後、▶ ボタンを押して、色温度メニューを表示します。



- ※ 「標準」以外では、すべての階調を表示することはできません。すべての階調を表示したいときは、「標準」に設定してください。
- ※ ◀▶ ボタンで「寒色」「・」「標準」「・」「暖色」「ユーザー設定」を選びます。
- ※ 「ユーザー設定」を選ぶと、「赤色コントラスト」、「緑色コントラスト」、「青色コントラスト」の設定値が表示され、微調整ができます。
- ※ SELECT ボタンで「赤色コントラスト」、「緑色コントラスト」、「青色コントラスト」を選びます。
- ※ 調整終了：MENU ボタン

- 寒色 標準設定よりも青みがかった色
- 標準設定よりもやや青みがかった色
- 標準 標準設定
- 標準設定よりもやや赤みがかった色
- 暖色 標準設定よりも赤みがかった色
- ユーザー設定
- 赤色コントラスト ◀ ボタンで青緑色、
▶ ボタンで赤色
- 緑色コントラスト ◀ ボタンで紫色、
▶ ボタンで緑色
- 青色コントラスト ◀ ボタンで黄色、
▶ ボタンで青色

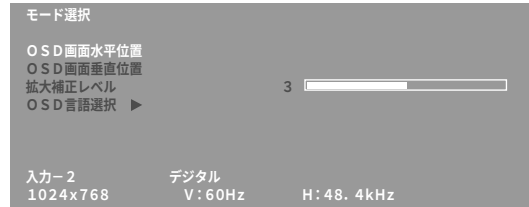
色あい

色あいを調整します。(◀▶ ボタン)

色の濃さ

色の濃さを調整します。(◀▶ ボタン)
最小値にすると、白黒になります。

モード選択メニュー



- ※ 入力信号の解像度によっては、項目の選択ができて、表示状態が変わらないことがあります。
- ※ 項目の選択：SELECT ボタン
- ※ 調整終了：MENU ボタン

OSD 画面水平位置

調整メニューの表示位置を左右に動かします。
(◀▶ ボタン)

OSD 画面垂直位置

調整メニューの表示位置を上下に動かします。
(◀▶ ボタン)

拡大補正レベル

拡大表示の画像のシャープさを調整することができます。(◀▶ ボタン)

OSD 言語選択

画面に表示されるメッセージや調整メニューの言語を変更することができます。

英語、ドイツ語、フランス語、オランダ語、スペイン語、イタリア語、スウェーデン語、日本語

- 1) 「OSD 言語選択」選択後、▶ ボタンを押す。
言語選択メニューが表示されます。
- 2) SELECT ボタンで言語を選択する。
- 3) MENU ボタンを押す。
言語選択メニューが消えます。

お手入れ・保管・アフターサービスについて

お手入れのしかた

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

■キャビネットや操作パネル部分

キャビネットや操作パネル部分の汚れは、乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。

汚れがひどいときは、柔らかい布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ってください。

■液晶パネル部分

液晶パネルの表面の汚れやホコリは、乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。（レンズクリーナーやガーゼなどの柔らかい布でもかまいません。）

！ ご注意

※ シンナー、ベンジン、アルコール、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。変色や変形の原因になります。

※ 硬いものでこすったり、強い力を加えないでください。傷が付いたり、故障の原因になります。

? Memo

※ 本機で使用している蛍光管には水銀が含まれています。本機を廃棄するときは、地方自治体の条例・規則に従ってください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせください。

保管にあたって

長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

！ ご注意

※ ゴム製品やビニール製品などと長時間接触させないでください。変色や変形の原因になります。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。

それでも正常に動かないときは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご連絡ください。

本機で使用している蛍光管には寿命があります。

※ 画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、寿命です。お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

※ ご使用初期において、蛍光管の特性上、画面がチラつくことがあります(故障ではありません)。その場合は、いったん電源を切り、電源を入れ直してご確認ください。

画面に何も表示されない(電源ランプ消灯)

※ 電源コードが正しく接続されていますか。(10 ページ)

画面に何も表示されない(電源ランプ点灯)

- ※ コンピュータと正しく接続されていますか。(8 ページ)
- ※ コンピュータの電源が入っていますか。
- ※ 信号の入力端子の切り替えは正しいですか。(10 ページ)
- ※ コンピュータの信号タイミングが本機の仕様に合っていますか。(24 ページ)
- ※ コンピュータの省電力機能が動作していませんか。

操作ボタンが効かない

※ 調整ロックが設定されていませんか。(12 ページ)

画面が乱れている

- ※ コンピュータの信号タイミングが本機の仕様に合っていますか。(24 ページ)
- ※ アナログ信号でお使いの場合、画面自動調整を行ってください。(14 ページ)
- ※ お使いのコンピュータで垂直周波数が変更できる場合は、低い周波数に変えてみてください。

音が聞こえない

- ※ オーディオケーブルは正しく接続されていますか。(9 ページ)
- ※ 音量調整を行ってください。(13 ページ)
- ※ ヘッドホンが接続されているときは、スピーカーの音は鳴りません。
- ※ 本機がパワーセーブになっているときは、スピーカーの音は鳴りません。

アフターサービスについて

■製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売窓口にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。保証期間はお買いあげの日から1年間です(ただし、光源の蛍光管は消耗品ですので、保証の対象になりません)。保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証期間後の修理は、お買いあげの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

■補修用性能部品について

当社は、この液晶モニターの補修用性能部品を製造打切後、7年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことで

■修理を依頼されるときは

先に「故障かな？と思ったら」をお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、使用をやめて、電源コードをコンセントから抜き、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口はこの製品を「**お持ち込み**」のうえ、修理をお申し付けください。

ご自分で修理はしないでください。たいへん危険です。

アフターサービスについてわからないことは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

お客様ご相談窓口のご案内(次ページ)

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取り扱い・お手入れについてのご相談やご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記の窓口にご相談ください。

・製品の故障や部品のご購入に関するご相談は…… **修理相談窓口** へ

・製品のお取り扱い方法、その他ご不明な点は…… **お客様相談センター** へ

※電話番号、所在地などは変わることがありますので、その節はご容赦願います。(2004年3月現在)

修理相談窓口

パソコン修理相談センター

<受付時間> ※月曜日～土曜日：午前9時～午後6時 ※日曜日・祝日：午前10時～午後5時(年末年始を除く)



【パソコン修理相談センター】

0570-01-4649

ナビダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
 呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせいたします。
 (注)携帯電話・PHSからはナビダイヤルをご利用いただけません。
 下記一般電話番号におかけください。

携帯電話／PHSの方は一般電話へ…………… 東日本地区 043-351-1831 西日本地区 06-6792-5613

◎修理ご依頼品を直接お持ちいただく場合は、お買いあげの販売店、または下記修理受付窓口へお持ち込みください。

<受付時間> ※月曜日～金曜日：午前9時～午後5時30分(土曜日・日曜日・祝日など弊社休日を除く)

担当地域	拠点名	郵便番号	所在地	担当地域	拠点名	郵便番号	所在地
北海道	札幌	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7丁目3-17	岐阜県	岐阜	〒500-8358	岐阜市六条南3-12-9
	帯広	〒080-0011	帯広市西1条南26丁目19-1		三重	〒514-0102	津市栗真町屋戸蒲池328
	室蘭	〒050-0074	室蘭市中島町1-9		富山	〒930-0906	富山市新庄北町5-63
	釧路	〒085-0051	釧路市光陽町8-13		石川	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚町4-103
	旭川	〒070-0031	旭川市一条通4丁目左10	福井県	福井	〒918-8206	福井市北四ツ居町625
青森県	函館	〒040-0001	函館市五稜郭町31-17		滋賀	〒520-2151	大津市栗林町11-35
	青森	〒030-0121	青森市妙見3-3-4		京都府	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	弘前	〒036-8101	弘前市豊田3-5-1		北近畿	〒620-0054	福知山市末広町6-13
	八戸	〒031-0802	八戸市小中野2-8-16	大阪府	恵美須	〒556-0003	大阪市浪速区恵美須西1-2-9
秋田県	秋田	〒010-0941	秋田市川尻大川反170-56		大阪	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	岩手	〒020-0891	紫波郡矢野町流通センター南3-1-1		大阪	〒597-0062	貝塚市沢1215
	釜石	〒026-0054	釜石市野田町1-10-32		北大阪	〒563-0043	池田市神田1-32-27
	仙台	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27		神戸	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
山形県	山形	〒990-2332	山形市飯田2-7-43	奈良県	姫路	〒671-2222	姫路市青山5-7-7
	福島	〒963-0111	郡山市安積町荒井方八丁33-1		奈良	〒639-1103	大和郡山市美濃庄町492
	いわき	〒970-8033	いわき市自由ヶ丘37-10		和歌山	〒641-0031	和歌山市西小二里2-4-91
	新潟	〒950-0993	新潟市上所中1-7-21		南紀	〒646-0051	田辺市稲成町80-2
	宇都宮	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41	鳥取県	鳥取	〒680-0942	鳥取市湖山町東4-27-1
新潟県	新潟	〒371-0855	前橋市関屋町1-3-7		岡山	〒701-0301	都窪郡早島町矢尾828
	馬場	〒310-0851	土浦市千波町1963		岡山	〒690-0017	松江市西津田3-1-10
	茨城	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2-107-2		広島	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
	さいたま	〒130-0011	東京都墨田区石原2-12-3		東広島	〒739-0142	東広島市八本松東4-3-30
東京都	城南	〒143-0025	東京都大田区南馬込1-5-15	山口県	福山	〒720-0841	福山市津之郷町津之郷272-1
	東京	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17		山口	〒754-0024	吉敷郡小郡町若草町4-12
	多摩	〒191-0003	日野市日野台5-5-4		東山口	〒744-0011	下松市西豊井173-1
	千葉	〒261-8520	千葉市美浜区中瀬1-9-2		香川	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
	千葉	〒270-2231	松戸市裕台295-1	徳島県	徳島	〒770-0813	徳島市中三島町3-11-14
神奈川県	千葉	〒289-2132	八日市場市高字東2779-4		愛媛	〒791-8036	松山市高岡178-1
	木更津	〒292-0801	木更津市諸西2-5-22		高知	〒781-8104	高知市高須1-14-43
	横浜	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23		福岡	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
	湘南	〒254-0013	平塚市田村4-14-36		福岡	〒839-0812	久留米市山川安居野3-12-47
山梨県	相模原	〒229-1122	相模原市横山2-2-12	長崎県	北九州	〒803-0814	北九州市小倉北区大手町6-12
	山梨	〒400-0049	甲府市富竹2-1-17		長崎	〒856-0817	大村市古賀島町613-3
	静岡	〒424-0067	静岡市清水島坂1170番1		大分	〒870-0913	大分市松原町3-5-3
	沼津	〒410-0062	沼津市宮前町11-4		熊本	〒862-0975	熊本市新屋敷3-15-17
	浜松	〒430-0803	浜松市植松町1476-2	宮崎県	天草	〒863-0021	本渡市港町19-3
長野県	松本	〒399-0002	松本市芳野8-14		宮崎	〒880-0007	宮崎市原町4-12
	長野	〒388-8014	長野市篠ノ井塩崎東田沢6877-1		鹿児島	〒890-0064	鹿児島市鴨池新町12-1
	名古屋	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5		奄美	〒894-0035	名瀬市塩浜町8-1
	岡崎	〒444-0065	岡崎市柿田町1-21	沖縄県	那覇	〒900-0002	那覇市曙2-10-1
愛知県	豊橋	〒440-0086	豊橋市下地町橋口17-1		先島	〒906-0013	平良市下里214-4

お客様相談センター

<受付時間> ※月曜日～土曜日：午前9時～午後6時 ※日曜日・祝日：午前10時～午後5時(年末年始を除く)

東日本相談室 電話 **043-299-8021** FAX 043-299-8280 〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2

西日本相談室 電話 **06-6794-8021** FAX 06-6792-5993 〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

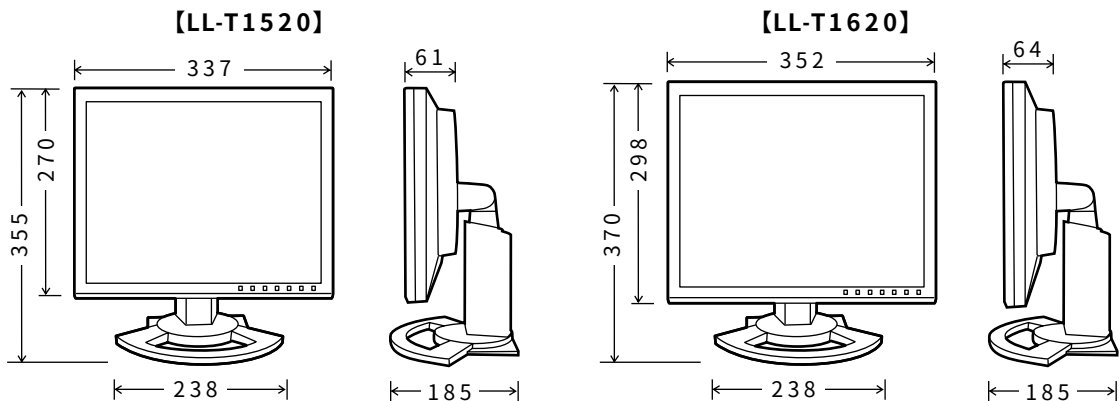
仕 様

■製品仕様

	LL-T1520	LL-T1620
液 晶 表 示 素 子	15型(対角38cm) アドバンスト・スーパーV & 低反射ブラックTFTカラー液晶	16型(対角40cm) アドバンスト・スーパーV & 低反射ブラックTFTカラー液晶
最 大 解 像 度	XGA 1024 × 768	SXGA 1280 × 1024
最 大 表 示 色	約1677万色 (8ビット)	
画 素 ピ ッ チ	水平0.297mm × 垂直0.297mm	水平0.248mm × 垂直0.248mm
最 大 輝 度	250cd/m ²	300cd/m ²
コ ン ト ラ ス ト 比	400 : 1	
視 野 角	左右170°、上下170°	
表 示 画 面 サ イ ズ	横304.1mm × 縦228.1mm	横317.4mm × 縦253.9mm
入 力 映 像 信 号	アナログ：アナログRGB(0.7Vp-p) [75Ω] デジタル：DVI規格 1.0準拠	
入 力 同 期 信 号	水平/垂直セパレート(TTL：正/負)、シンク・オン・グリーン、コンポジット・シンク(TTL：正/負)	
拡 大 補 正	デジタルスケーリング(VGA/SVGA等を補正して拡大表示)*	デジタルスケーリング(VGA/SVGA/XGA等を補正して拡大表示)*
プ ラ グ & プ レ イ	VESA DDC1/DDC2B対応	
パ ワー マ ネージメント	VESA DPMS準拠、DVI DMPM準拠	
ス ピ ー カ ー 出 力	1W + 1W	
信 号 入 力 端 子	アナログ：ミニD-sub15ピン(3列) デジタル/アナログ：DVI-I 29ピン	
音 声 入 力 端 子	ミニステレオジャック	
ヘッドホン出力端子	ミニステレオジャック	
画 面 角 度 調 整	チルト：上向きに0～約30°、下向きに0～約5° スイーベル：左右合わせて約90°	
電 源	AC100V 50/60Hz	
使 用 温 度 条 件	5～35℃	
消 費 電 力	最大36W (待機時3W)	最大42W (待機時3W)
外 形 寸 法	幅337mm×奥行185mm×高さ355mm	幅352mm×奥行185mm×高さ370mm
質 量	約4.9kg (ディスプレイ部のみ約3.3kg)	約5.3kg (ディスプレイ部のみ約3.7kg)

*全画面拡大のみ。1:1での表示、アスペクト比(縦横比)固定での拡大表示はできません。

■外形寸法図 (単位 mm)



付属のケーブルの長さ (LL-T1520、LL-T1620共通)

アナログ信号ケーブル：約2.0m
オーディオケーブル：約2.0m
電源コード：約2.0m

別売のケーブルの長さ (LL-T1520、LL-T1620共通)

デジタル信号ケーブル NL-C01J：約2.0m
アナログ信号ケーブル NL-C02J：約2.0m

■対応信号タイミング

表示モード		水平周波数	垂直周波数	ドット周波数	LL-T1520		LL-T1620	
					アナログ	デジタル	アナログ	デジタル
VESA ・IBM AT 互換機 ・PC-9800 シリーズ	640×480	31.5kHz	60Hz	25.175MHz	○	○	○	○
		37.9kHz	72Hz	31.5MHz	○	○	○	○
		37.5kHz	75Hz	31.5MHz	○	○	○	○
	800×600	35.1kHz	56Hz	36.0MHz	○	—	○	—
		37.9kHz	60Hz	40.0MHz	○	○	○	○
		48.1kHz	72Hz	50.0MHz	○	○	○	○
		46.9kHz	75Hz	49.5MHz	○	○	○	○
	1024×768	48.4kHz	60Hz	65.0MHz	○	○	○	○
		56.5kHz	70Hz	75.0MHz	○	○	○	○
		60.0kHz	75Hz	78.75MHz	○	○	○	○
	1152×864	67.5kHz	75Hz	108.0MHz	—	—	○	○
	1280×960	60.0kHz	60Hz	108.0MHz	—	—	○	○
US TEXT PC-9800 シリーズ Power Macintosh シリーズ Sun Ultra シリーズ	720×400	31.5kHz	70Hz	28.3MHz	○	○	○	○
		24.8kHz	56.4Hz	21.053MHz	○	—	○	—
	640×400	31.5kHz	70Hz	25.175MHz	○	○	○	○
		35.0kHz	66.7Hz	30.2MHz	○	—	○	—
	832×624	49.7kHz	74.6Hz	57.3MHz	○	—	○	—
		60.2kHz	75Hz	80.0MHz	○	—	○	—
		68.7kHz	75Hz	100.0MHz	—	—	○	—
		64.0kHz	60Hz	108.0MHz	—	—	○	—
	1024×768	80.0kHz	75Hz	135.0MHz	—	—	○	—
		48.3kHz	60Hz	64.13MHz	—	—	○	—
	1152×900	53.6kHz	66Hz	70.4MHz	—	—	○	—
		56.6kHz	70Hz	74.25MHz	—	—	○	—
		61.8kHz	66Hz	94.88MHz	—	—	○	—
		71.7kHz	67.2Hz	117.01MHz	—	—	○	—

※ LL-T1520 の推奨解像度は、1024 × 768 です。

※ LL-T1620 の推奨解像度は、1280 × 1024 です。

※ すべてノンインターレースのみの対応です。

※ Power Macintosh、および Sun Ultra シリーズの各周波数は参考値です。また接続には、市販の変換アダプターが必要になることがあります。

※ デジタル接続の場合、DVI 準拠の出力端子(DVI-D 24 ピンまたは DVI-I 29 ピン)を持つ以下のコンピュータと接続することができます。(ただし、接続するコンピュータによっては正しく表示されないことがあります。)

LL-T1520：XGA 出力が可能なコンピュータ

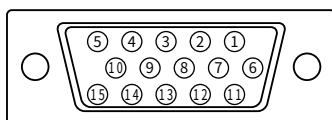
LL-T1620：SXGA 出力が可能なコンピュータ

※ 本機で対応していない信号タイミングが入力されたときには、「入力信号が対応範囲外です」と表示されます。その場合、ご使用のコンピュータの取扱説明書にもとづき、本機で対応している信号タイミングに設定してください。

※ 本機に何も信号(同期信号)が入力されない場合、「入力信号がありません」と表示されます。

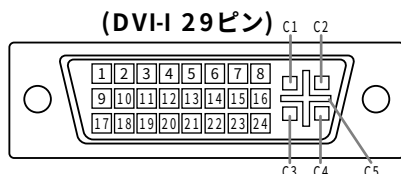
■アナログ RGB 入力端子のピン配列

ミニD-subコネクタ 15ピン



番号	機 能	番号	機 能
1	赤映像信号入力	9	DDC+5V
2	緑映像信号入力	10	GND
3	青映像信号入力	11	N.C.
4	GND	12	DDCデータ
5	GND	13	水平同期信号入力
6	赤映像信号用GND	14	垂直同期信号入力
7	緑映像信号用GND	15	DDCクロック
8	青映像信号用GND		

■ DVI-I 入力端子のピン配列



番号	機 能	番号	機 能	番号	機 能
1	TMDSデータ2-	11	TMDSデータ1/3シールド	21	N.C.
2	TMDSデータ2+	12	N.C.	22	TMDSクロックシールド
3	TMDSデータ2/4シールド	13	N.C.	23	TMDSクロック+
4	N.C.	14	+5V	24	TMDSクロック-
5	N.C.	15	GND	C1	アナログ赤映像信号
6	DDCクロック	16	ホットプラグ検知	C2	アナログ緑映像信号
7	DDCデータ	17	TMDSデータ0-	C3	アナログ青映像信号
8	アナログ垂直同期信号	18	TMDSデータ0+	C4	アナログ水平同期信号
9	TMDSデータ1-	19	TMDSデータ0/5シールド	C5	アナログGND
10	TMDSデータ1+	20	N.C.		

■ パワーマネージメント

本機は、VESA DPMS、DVI DMPM、Energy Starに準拠しています。

本機のパワーマネージメント機能を動作するためには、ビデオカードやコンピュータもVESA DPMS規格やDVI DMPM規格に適合している必要があります。

DPMS : Display Power Management Signaling

DPMSモード	画面	消費電力	水平同期	垂直同期
ON STATE	表 示	LL-T1520 : 36W LL-T1620 : 42W	あり	あり
STANDBY	無表示	LL-T1520 : 3W LL-T1620 : 3W	なし	あり
SUSPEND			あり	なし
OFF STATE			なし	なし

DMPM : Digital Monitor Power Management

DMPMモード	画面	消費電力
Monitor ON	表 示	LL-T1520 : 36W LL-T1620 : 42W
Active OFF	無表示	LL-T1520 : 3W LL-T1620 : 3W

Energy Star :



当社は国際エネルギースタートプログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタートプログラムの基準に適合していると判断します。

『国際エネルギースタートプログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の間で統一されています。』

■ DDC(プラグ&プレイ)

本機は、VESAのDDC(Display Data Channel)規格をサポートしています。

DDCとは、モニターとパソコンのプラグ&プレイを行うための信号規格です。モニターとパソコンの間で解像度などに関する情報を受け渡しします。この機能は、パソコンがDDCに対応しており、プラグ&プレイモニターを検出する設定になっている場合に使用できます。

DDCには、通信方式の違いによりいくつかの種類があります。本機は、DDC1とDDC2Bに対応しています。

セットアップ情報とICC プロファイルについて(Windows)

ご使用のコンピュータやOSによっては、コンピュータ側で本機のセットアップ情報の格納等の操作が必要になることがあります。その場合は、以下の手順でセットアップ情報の格納を行ってください。(ご使用のコンピュータやOSによっては、名称・操作方法が異なることがあります。コンピュータの取扱説明書と併せてお読みください。)

ICC プロファイルとは…

ICC(International Color Consortium)プロファイルは、液晶モニターの色再現特性を記述したファイルです。ICC プロファイルに対応したアプリケーションで高い色再現性を実現します。

※ ICC プロファイルは、Windows98/2000/Me/XP に対応しています。

※ Windows98/2000/Me/XP でセットアップ情報の格納を行うと、ICC プロファイルも格納されます。ICC プロファイルだけを格納したいときは、28 ページの「ICC プロファイルの格納」をご覧ください。

※ ICC プロファイルを使用する場合は、「カラーモード」「色温度」をそれぞれ「標準」に、「色あい」「色の濃さ」をそれぞれ「0」に設定してください。

■セットアップ情報の格納

Windows95 の場合

Windows95 に本機のセットアップ情報を格納します。フロッピーディスクドライブを「A ドライブ」として説明します。

1. コンピュータの A ドライブに付属のユーティリティディスクをセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「ディスプレイの詳細」、「詳細プロパティ」、「モニター」、「変更」の順にクリックする。
デバイスの選択画面が表示されます。
5. 「ディスク使用」をクリックし、「配布ファイルのコピー元」が「A:\」であることを確認して「OK」をクリックする。
6. 表示された一覧から本機を選び、「OK」をクリックする。
7. 本機が表示されていることを確認して、「更新」をクリックする。
8. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
9. A ドライブからユーティリティディスクを取り出す。

Windows98 の場合

Windows98 に本機のセットアップ情報を格納し、本機の ICC プロファイルを既定値として設定します。フロッピーディスクドライブを「A ドライブ」として説明します。

【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合】

1. コンピュータの A ドライブに付属のユーティリティディスクをセットする。
2. 「次へ」をクリックする。
3. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
4. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「配布ファイルのコピー元」が「A:\」であることを確認して「OK」をクリックする。
5. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」、「次へ」、「完了」の順にクリックする。
新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合は、もう一度 2. から操作してください。
6. A ドライブからユーティリティディスクを取り出す。

【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されなかった場合】

1. コンピュータの A ドライブに付属のユーティリティディスクをセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「設定」、「詳細」、「モニター」の順にクリックする。
5. 「オプション」内の「プラグ アンド プレイ モニタを自動的に検出する」をチェックし、「変更」をクリックする。
6. 「次へ」をクリックする。
7. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
8. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「配布ファイルのコピー元」が「A:\」であることを確認して「OK」をクリックする。
9. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」、「次へ」、「完了」の順にクリックする。
10. 本機が表示されていることを確認し、「適用」をクリックする。
11. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
12. A ドライブからユーティリティディスクを取り出す。

Windows2000 の場合

Windows2000 に本機のセットアップ情報を格納し、本機の ICC プロファイルを既定値として設定します。フロッピーディスクドライブを「A ドライブ」として説明します。

1. コンピュータの A ドライブに付属のユーティリティディスクをセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「設定」、「詳細」、「モニタ」の順にクリックする。
5. 「プロパティ」、「ドライバ」、「ドライバの更新」の順にクリックする。
6. 「デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始」が表示されたら「次へ」をクリックする。
7. 「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
8. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「製造元のファイルのコピー元」が「A:\」であることを確認して「OK」をクリックする。
9. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」をクリックする。
10. 「次へ」をクリックし、モニタ名に本機が表示されていることを確認し、「完了」をクリックする。
「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示された場合は「はい」をクリックしてください。
11. 「閉じる」をクリックして、「画面のプロパティ」を閉じる。
12. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
13. A ドライブからユーティリティディスクを取り出す。

WindowsMe の場合

WindowsMe に本機のセットアップ情報を格納し、本機の ICC プロファイルを既定値として設定します。フロッピーディスクドライブを「A ドライブ」として説明します。

【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合】

1. コンピュータの A ドライブに付属のユーティリティディスクをセットする。
2. 「ドライバの場所を指定する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
3. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
4. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「製造元ファイルのコピー元」が「A:\」であることを確認して「OK」をクリックする。
5. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」、「次へ」、「完了」の順にクリックする。
新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合は、もう一度 2. から操作してください。
6. A ドライブからユーティリティディスクを取り出す。

【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されなかった場合】

1. コンピュータの A ドライブに付属のユーティリティディスクをセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「設定」、「詳細」、「モニタ」の順にクリックする。
5. 「オプション」内の「プラグ アンド プレイ モニタを自動的に検出する」をチェックし、「変更」をクリックする。
6. 「ドライバの場所を指定する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
7. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
8. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「製造元ファイルのコピー元」が「A:\」であることを確認して「OK」をクリックする。
9. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」、「次へ」、「完了」の順にクリックする。
10. 本機が表示されていることを確認し、「適用」をクリックする。
11. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
12. A ドライブからユーティリティディスクを取り出す。

WindowsXP の場合

WindowsXP に本機のセットアップ情報を格納し、本機の ICC プロファイルを既定値として設定します。フロッピーディスクドライブを「A ドライブ」として説明します。

1. コンピュータの A ドライブに付属のユーティリティーディスクをセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」を選ぶ。
3. クラシック表示にする。
4. 「画面」をダブルクリックする。
5. 「設定」、「詳細設定」、「モニタ」の順にクリックする。
6. 「プロパティ」、「ドライバ」、「ドライバの更新」の順にクリックする。
7. ハードウェアの更新ウィザードが表示されたら、「一覧または特定場所からインストールする」をチェックし、「次へ」をクリックする。
8. 「検索しないで、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
9. 「ディスク使用」をクリックし、「製造元のファイルのコピー元」を「A:」にして「OK」をクリックする。
10. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」をクリックする。
「Windows ログテストに合格していません…」と表示された場合は、「続行」をクリックしてください。
11. 本機が表示されていることを確認し、「完了」をクリックする。
12. 「閉じる」をクリックして、「画面のプロパティ」を閉じる。
13. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
14. A ドライブからユーティリティーディスクを取り出す。

■ ICC プロファイルの格納

本機の ICC プロファイルを格納します。(セットアップ情報の格納を行った場合は、プロファイルの格納も行われていますので、この操作は不要です。)

フロッピーディスクドライブを「A ドライブ」として説明します。

1. コンピュータの A ドライブに付属のユーティリティーディスクをセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「設定」、「詳細」の順にクリックする。
5. 「全般」をクリックし、「互換性」内の「再起動しないで新しい色の設定を適用する」を選び、「色の管理」をクリックする。
6. 「追加」をクリックし、ファイルの場所を「3.5 インチ FD(A:)」にする。
7. インストールしたい「カラープロファイル」を選び、「追加」をクリックする。
8. プロファイルを選び、「既定値として設定」をクリックする。
9. 「OK」をクリックしてウィンドウを閉じる。
10. A ドライブからユーティリティーディスクを取り出す。

※ ICC プロファイルを使用する場合は、「カラーモード」「色温度」をそれぞれ「標準」に、「色あい」「色の濃さ」をそれぞれ「0」に設定してください。

ColorSync プロファイルについて(MacOS)

ColorSync プロファイルとは…

ColorSync はアップル社のカラーマネージメントシステムで、対応したアプリケーションで色再現性を実現するための機能です。ColorSync プロファイルには液晶モニターの色再現特性を記述しています。

- ※ 本機の ColorSync プロファイルは、MacOS 8.5 以降に対応しています。
- ※ ColorSync プロファイルを使用する場合は、「カラーモード」「色温度」をそれぞれ「標準」に、「色あい」「色の濃さ」をそれぞれ「0」に設定してください。

ColorSync プロファイルの設定方法

- ※ フロッピーディスクドライブが必要です。また、システムに「PC Exchange」または「File Exchange」がインストールされている必要があります。
- ※ ご使用のコンピュータや OS によっては、名称・操作方法が異なることがあります。コンピュータの取扱説明書と併せてお読みください。

1. コンピュータのフロッピーディスクドライブに付属のユーティリティーディスクをセットする。
2. ユーティリティーディスクの Mac フォルダ内の使用するプロファイルを、システムフォルダ内の ColorSync プロファイルフォルダにコピーする。
3. コントロールパネルの ColorSync で、使用するプロファイルを選ぶ。

VESA 規格準拠アームの取り付けかた

VESA 規格に準拠した市販のアーム等を取り付けることができます。アーム等は、お客様でご用意ください。

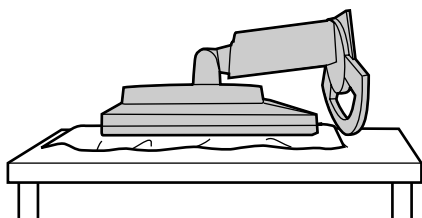
※ 本機に取り付けるアーム等は、以下の点に注意してお選びください。

- ・ VESA 規格に対応し、モニターに取り付ける部分のビス穴間隔が 75mm × 75mm のもの
- ・ モニターを取り付けても、外れたり、倒れたりしないもの

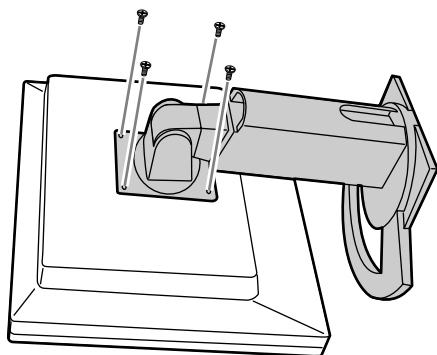
※ ケーブルを無理に曲げたり、ケーブルに力が加わらないようにしてください。断線などの故障の原因になります。

※ 本書とともに、アーム等に付属の説明書もよくお読みください。

1. 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
2. ケーブルを取り外す。
3. 安定した水平な机などの上に、柔らかい布などを敷く。
4. モニターを傷つけないように、表示部を下向きにして静かに置く。



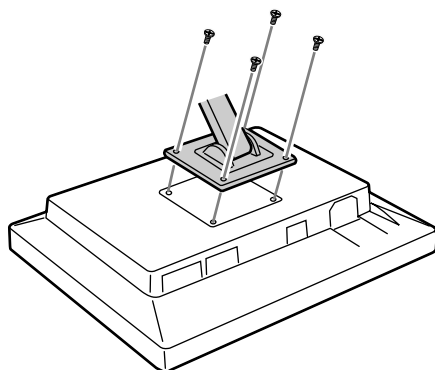
5. ビス(4 本)を外して、スタンドを外す。



※ スタンドは、本機専用です。取り外したスタンドは、他の機器で使用しないでください。

※ 取り外したビスは、スタンドとともに保管し、スタンドに戻すときは、必ず元のビスを使用してください。別のビスを使用すると、故障などの原因になります。

6. アーム等をビス(4 本)で固定する。



※ 固定用のビスは、アームの取り付け面からの長さが 6 ～ 8mm の M4 を使用してください。指定以外のビスを使用すると、脱落や、モニター内部の破損の原因になります。

6 ～ 8 mm



アーム固定用ビス

アーム

モニターのアーム取り付け部

●製品についてのお問い合わせは・・

お客様相談センター	東日本相談室	TEL 043-299-8021	FAX 043-299-8280
	西日本相談室	TEL 06-6794-8021	FAX 06-6792-5993
《受付時間》 月曜～土曜：午前9時～午後6時 日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）			

●修理のご相談は・・

22ページ記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。

●シャープホームページ

<http://www.sharp.co.jp/crisia/>

（2004年3月現在）

シャープ株式会社

本社 545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
情報通信事業本部 639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地